

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	97	その他(評価用)	事業コード	25043	
事業名	治水事業						
評価担当課	所属名	下)事業推進部 河川事業課					
	課長名	伯谷 浩	担当者名	中尾 知昭	電話番号	818-3414	
施策名	主	都市基盤の維持・保全と防災力の強化					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	浸水被害面積を令和元年度から令和4年度末までに15ha軽減する。				
		長期	市民を守るため、水害に強いまちづくりを実現する。				
	取組内容	河川の流下能力不足による洪水を防ぐため、国及び北海道と連携を図りながら、河道拡幅、護岸整備などの河川改修を実施する。 また、河川への雨水流出量を軽減するため、流域内の学校や公園のグラウンドなどを活用して、雨水を一時的に貯留させる流域貯留施設の整備を行う。					
	実施結果	雁来川など治水対策が必要な6河川について、0.1kmの河川改修や3箇所の流域貯留施設の整備を進め、治水安全度の向上を図った。					
事業実施における工夫点	事業の必要性などを地域住民等にわかりやすく説明し、事業の円滑な進捗に努めるとともに、事業効果が高くなるよう工法を検討する。						
対象者	市民および事業者			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	河川法等						
他都市の状況	他都市においても、洪水を防ぐため治水対策を進めている。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	1,855,505	1,805,600	1,766,556	1,843,760
うち特定財源	966,407	1,430,300	995,385	1,470,360
人工	20.0	20.0	20.0	20.0
人件費	144,000	144,000	144,000	144,000
計(事業費+人件費)	1,999,505	1,949,600	1,910,556	1,987,760
事業費の内訳	令和3年度決算	■河川改修事業:1,434,515千円 ■流域貯留浸透事業:320,656千円 ■その他:11,385千円		
	令和4年度予算	■河川改修事業:1,704,286千円 ■流域貯留浸透事業:127,114千円 ■その他:12,360千円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	治水対策を進める河川の延長(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	117.5km	117.6km	117.6km	117.7km	
活動指標2	指標名	伏籠川及び望月寒川流域内の貯留施設の整備箇所数(累計)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	137	140	140	141	
成果指標1	指標名	治水整備により軽減される浸水被害面積			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	5ha	9ha	15ha	15ha	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	国や北海道及び下水道と連携し、河川や流域貯留施設の整備を行うことにより、浸水被害面積が令和元年度当初から約15ha軽減された。 令和4年度までの目標値は達成しているが、引き続き、浸水被害の軽減のため、治水整備を進めていく必要がある。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	本市管理河川の整備は、概ね10～50年確率規模の治水安全度を確保することを目標に進めている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	1 事業の進め方や担い手など ・治水事業は行政が担うべきものである。 2 事業手法の妥当性や効率性 ・事業実施にあたっては、常にコスト意識を持ちながら検討を進め、総合的に経済性、安全性に優れたものを採用している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和3年度第3回市民意識調査結果では、地震・火災・水害などの防災対策に関する事業について、「力を入れてほしい」との回答が61.8%、河川・湖沼などの整備に関する事業について、「力を入れてほしい」との回答が41.1%であり、市民ニーズが高い。また、河川・湖沼などの整備に関する事業について、「よくやっているとは思わない」の11.0%に対し、「よくやっていると思う」との回答は34.5%であり、一定の満足度を得ていると考えられる。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	本市では、昭和56年以降大きな水害は発生していないが、近年、局地的な大雨が増加し低い土地の浸水被害が発生している。この状況に対し、安全・安心なまちづくりに向け、河川と下水道の連携をより一層に深め、ハードとソフトの両面における治水対策に取り組んでいく必要がある。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円	
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	河川改修や流域貯留施設整備により、治水安全度が向上している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 近年増加している局地的な集中豪雨への対応として、「札幌市雨に強いまちづくりプラン2023」に基づき、河川・下水道が連携し、浸水被害を軽減する河川整備等を進めていく。			
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 大雨による浸水被害の軽減のため、引き続き、河川改修や流域対策を実施していく。		見直し効果額	0 千円